

土木技CAL S Ver5.3SP1 更新情報

アプリ名	件名	詳細	結果
FWCAD	SXFファイルの読み込みと保存が正しく行われない	<ul style="list-style-type: none"> ・角度寸法線、半径寸法線で、補助線なし、または矢印コードなしのSXF寸法線データを読み込むと、寸法線の端点が用紙外になる。 ・角度寸法線で矢印なしのSXF寸法線データを読み込むと、寸法線の位置が補助線の端点になる。 ・寸法線の矢印の縦横比がおかしい。 ・横書きフォントで書き出し方向「縦」のSXF文字列を読み込んだり、縦書きで表示されない。 ・SXF既定義色の「オレンジ」を読み込むと「緑」で表示される。 ・SXF既定義色の「青紫」を読み込むと「白」で表示される。 ・文字列にスラント角度が設定されているSXF文字列を読み込んだときに、スラント表示ができていない。 ・SXF中抜きハッチングデータを読み込んだときに、中抜き線の位置、縮尺がおかしい。 ・SXF作図部品で同名の作図部品が複数配置されているSXFデータを読み込んだ場合、最初の1つしか表示されない。 ・寸法線の文字配置位置が逆さまになるときがある。 ・SFC形式で直線寸法線の矢印コードなしのデータを読み込んだり、矢印が表示されてしまう。 	SXFファイルの読み込みや保存が正しく行われるように修正しました。 (ただし、中抜き図形のハッチングについては、中抜き部分にもハッチングがかかった図形として表示します。)
設計書入力、 切削管理、 土木展開図、 工事展開図、 配布展開図、 土木測量	CAD製図基準対応の文字サイズについて	土木技CAL Sの各アプリケーションでCAD製図基準-文字サイズの制限を行うに設定しても、SXF変換時に出力される文字サイズがCAD製図基準対応のサイズになっていない。	CAD製図基準に対応した正しい文字サイズで出力するよう修正しました。
電子納品ツール	図面番号の重複チェックについて	国土交通省 H16年4月版において、電子納品変換時に図面番号の重複チェックが行われるが、整理番号が異なる場合も図面番号が同じならば重複チェックに引っかかってしまい、電子納品変換を行うことができない。	図面番号が重複していても、改訂履歴、格納サブフォルダ、整理番号のどれかが異なる場合はチェックに引っかからず電子納品変換が行えるように修正しました。
出来形	出来形規格値の更新	出来形の規格値について最新の仕様書に沿って更新してほしい。	岐阜県、愛知県、静岡県、奈良県、横浜市の規格値を更新しました。
	グラフ出力設定の初期値について	「グラフ出力設定」の初期設定で「社内値1~3,平均値」も「全て出力」になっている。 Ver5.3以前までは、社内値がグラフに出力される設定の帳票はほとんどなかったため、これらの初期設定は「出力しない」に変えて欲しい。	土木技CAL Sを始めてインストール後、「グラフ出力設定」の初期値は、規格値と管理基準値が「全て出力」、社内値と平均値は「出力しない」になるように変更しました。
	設計値以上を入力した際のグラフが正しくない	様式5「および福岡県の様式5-福岡県版」、出来形管理測定表1~2」、出来形管理図表3」で、規格値~社内値3のどれかに「設計値以上」を入力すると、CADファイルのグラフの1目盛りがとてつもない大きな数値になってしまう	設計値以上を入力した場合も、グラフが正しく出力されるように修正しました。
土木測量	水準測量	土木測量の水準測量を復路の入力を行わずに終了し、修正起動をすると、往路の入力画面の最後の行で、前視の入力ができず、以降の入力値が消えてしまう。	最終行の前視の入力が正常に行えるように修正しました。
	トラバース	放射トラバースで、計算された座標が正しくない。	正しい座標が計算されるように修正しました。
高さ管理	測定名称について	栃木県の管理図表で帳票に出力される測定名称が正しくない。	正しい測定名称が出力されるように修正しました。
配布展開図	区割り計算について	区割り計算シミュレーション時に、入力した区割り面積よりも大きな面積が計算されてしまう	シミュレーションで指定した面積よりも大きな区割りが行われないように修正しました。